

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第69期 (決算日2016年9月20日)

第70期 (決算日2016年10月20日)

第71期 (決算日2016年11月21日)

第72期 (決算日2016年12月20日)

第73期 (決算日2017年1月20日)

第74期 (決算日2017年2月20日)

作成対象期間 (2016年8月23日～2017年2月20日)

第74期末 (2017年2月20日)

基準価額	3,458円
純資産総額	27,099百万円
第69期～第74期	
騰落率	27.3%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース」は、2017年2月20日に第74期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

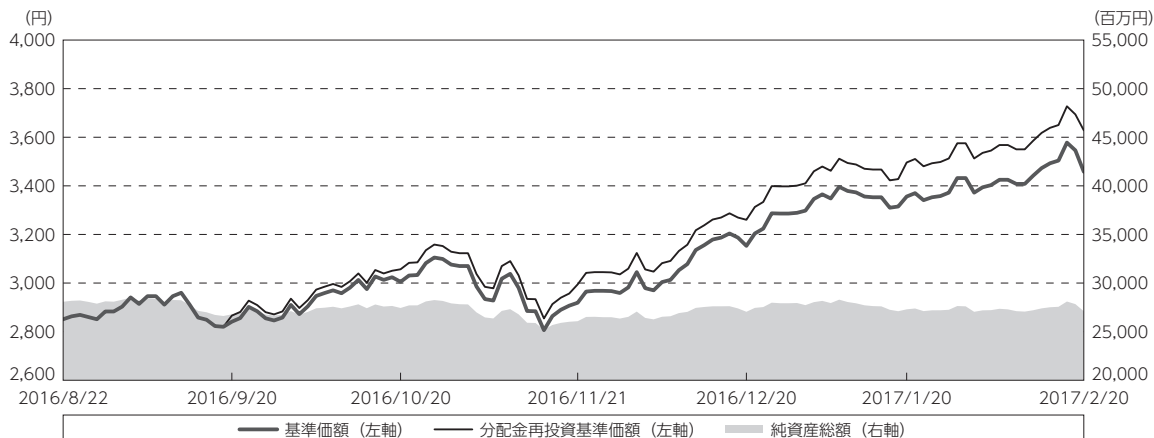
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2016年8月23日～2017年2月20日)



第69期首：2,851円

第74期末：3,458円 (既払分配金(税込み)：150円)

騰落率：27.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2016年8月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・新興国ハイ・イールド社債中心に米国公債とのスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。
- ・ブラジルリアルが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国公債の金利が上昇(債券価格は下落)したこと。

1万口当たりの費用明細

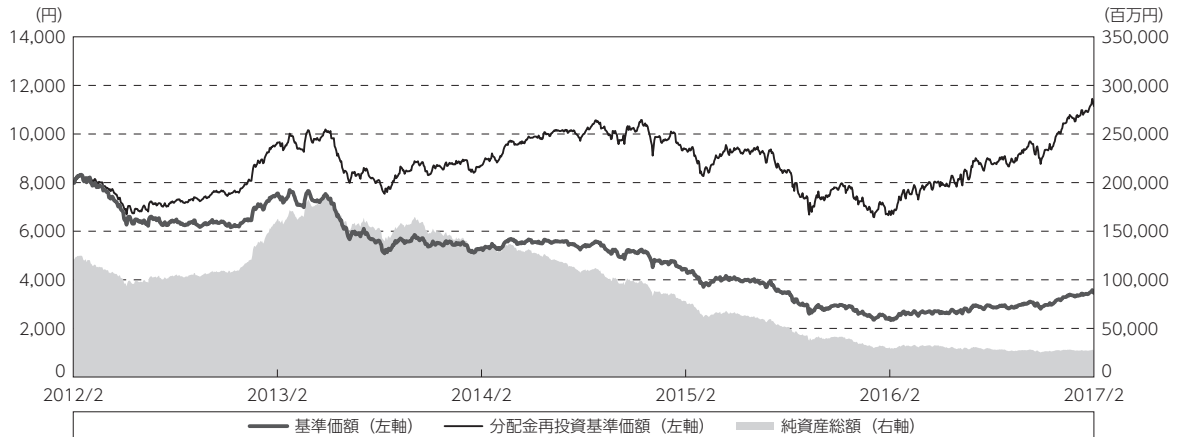
(2016年8月23日～2017年2月20日)

項 目	第69期～第74期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	17 円	0.555 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.162)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.377)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(0)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	17	0.561	
作成期間の平均基準価額は、3,099円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
 (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年2月20日～2017年2月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年2月20日 決算日	2013年2月20日 決算日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日	2017年2月20日 決算日
基準価額 (円)	7,983	7,417	5,216	4,309	2,335	3,458
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,780	1,530	1,320	900	350
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	20.9	△ 9.3	6.7	△ 28.6	67.3
純資産総額 (百万円)	121,050	159,738	131,222	75,485	28,913	27,099

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2016年8月23日～2017年2月20日)

(債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場は上昇しました。

市場に影響が大きかったのが、2016年11月に実施された米国大統領選挙において共和党候補が予想外に勝利し、財政拡大路線への予想から米国国債金利が大幅に上昇したことでした。また12月には、米国連邦準備制度理事会（F R B）が1年ぶりに利上げを実施しました。このことを受けて債券市場は一般的に軟調な展開となり、米国次期大統領の貿易保護主義的な姿勢や強硬策への懸念から、新興国資産に対する市場心理が悪化しました。一方で、石油輸出国機構（O P E C）加盟国と非加盟国の間で、原油の減産について合意に至ったことを受けて、原油をはじめとするエネルギー価格は上昇し、米国次期大統領のインフラ投資による恩恵への期待から商品価格も上昇が見られました。これらを背景に、ハイ・イールド社債市場はグローバルに堅調となり、新興国のハイ・イールド社債市場も堅調に推移しました。新興国投資適格債券市場は金利上昇を受けてマイナス・リターンとなる一方、ハイ・イールド社債市場はプラス・リターンとなりました。

業種別では金属および鉱業や石油およびガスセクターが堅調に推移しました。地域別では中南米やアフリカがアジアのリターンを上回りました。国別では、国内の銀行を国有化し、銀行セクターの改革について進捗が見られたウクライナが大きく上昇しました。

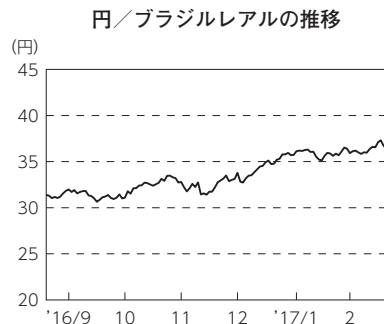
(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.24%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.27%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中におけるブラジルリアル（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2016年8月23日～2017年2月20日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「EMサブ | Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(EMサブ | Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

当ファンドは、エネルギーおよび商品価格の上昇による恩恵を受けやすいと考える、エネルギーセクターへの投資比率を特に高めました。国別ではウクライナの投資比率を高め、米国新大統領の政策によりマイナスの影響を受けやすいと考えるメキシコの投資比率を抑制しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年8月23日～2017年2月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

(2016年8月23日～2017年2月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期
	2016年8月23日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月20日	2016年10月21日～ 2016年11月21日	2016年11月22日～ 2016年12月20日	2016年12月21日～ 2017年1月20日	2017年1月21日～ 2017年2月20日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.872%	0.825%	0.849%	0.787%	0.739%	0.718%
当期の収益	12	14	11	14	14	13
当期の収益以外	12	10	13	10	10	11
翌期繰越分配対象額	4,127	4,116	4,103	4,092	4,081	4,070

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

新興国ハイ・イールド社債市場に対しては引き続き、概ね前向きにみていますが、この見通しの背景となっているのはデフォルト(債務不履行)率の低下です。新興国社債市場にとって最も大きなリスクは、米国新政権におけるリスクであると考えていますが、現時点ではデフォルト率が大きく上昇することはないと考えています。そのため米国新政権による障壁が高まったとしても、市場は比較的堅調に持ちこたえたとみています。一方で、主要金利および債券市場の価格変動は高まると予想しており、これを収益獲得機会として活用していく方針です。

ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)面が比較的良好であることからポートフォリオのリスクは高めていく方針ですが、魅力的な水準で発行される新発債への投資を行なえるように現金比率も高め、全体のバランスを取っていきます。業種としては、商品関連およびエネルギーセクターを引き続き選好し、エネルギーおよび商品価格の上昇や安定による恩恵を受けられるようにしていきたいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

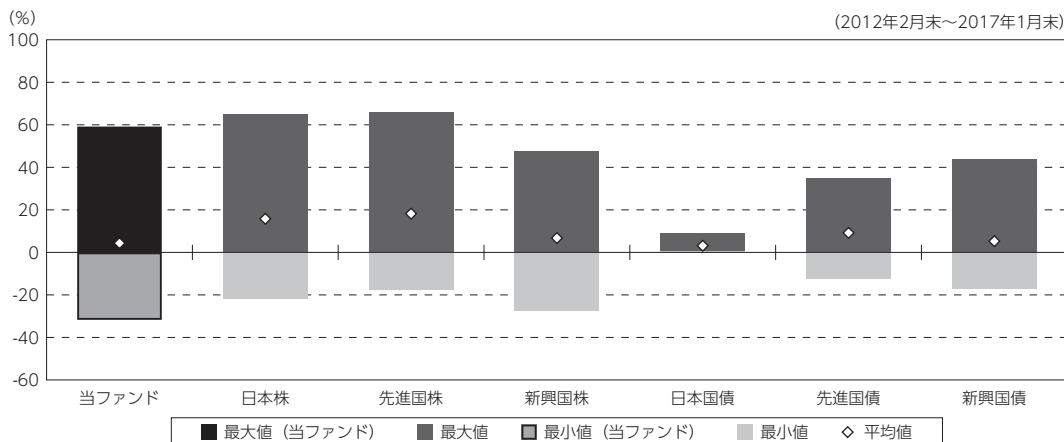
2016年8月23日から2017年2月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポンド・サブトラスト J P Y ・ B R L クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国（新興国）の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	59.2	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 31.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.5	△ 12.3	△ 17.4
平均値	4.3	15.8	18.2	6.7	3.1	9.2	5.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年2月から2017年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年2月20日現在)

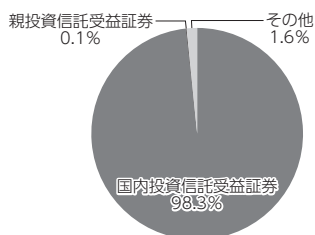
○組入上位ファンド

銘柄名	第74期末
EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス	98.3%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
組入銘柄数	2銘柄

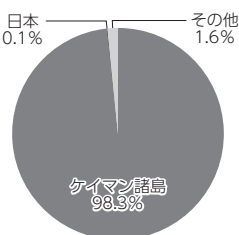
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

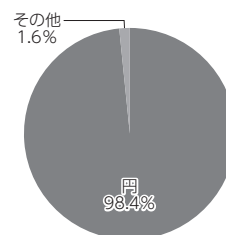
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

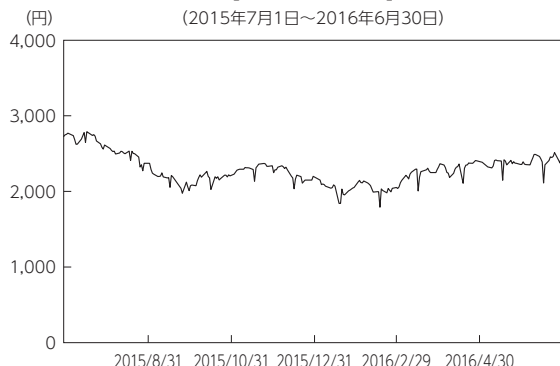
項目	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末
	2016年9月20日	2016年10月20日	2016年11月21日	2016年12月20日	2017年1月20日	2017年2月20日
純資産総額	26,779,983,044円	27,435,491,316円	26,075,630,239円	27,044,111,605円	27,294,998,330円	27,099,122,307円
受益権総口数	94,258,050,728口	91,304,943,014口	89,323,890,049口	85,774,320,610口	81,334,124,177口	78,357,145,237口
1万口当たり基準価額	2,841円	3,005円	2,919円	3,153円	3,356円	3,458円

(注) 当作成期間(第69期~第74期)中における追加設定元本額は1,337,389,253円、同解約元本額は21,450,403,308円です。

組入上位ファンドの概要

EMサブIGハイインカム・コーポンド・サブトラスト JPY・BRLクラス

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年7月1日～2016年6月30日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

(2016年6月30日現在)

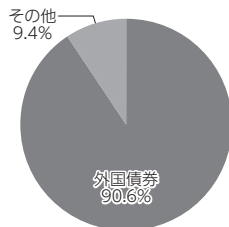
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	YPF SA 8.50%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	2.3
2	VTR Finance BV 6.88%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.3
3	Cosan Overseas Ltd 8.25%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	2.0
4	DP World Ltd 6.85%	外国債券	アメリカドル	アラブ首長国連邦	1.8
5	YPF SA 8.75%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	1.8
6	Sable International Finance Ltd 6.88%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	1.7
7	Comcel Trust via Comunicaciones Celulares SA 6.88%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	1.7
8	Studio City Finance Ltd 8.50%	外国債券	アメリカドル	英領バージン諸島	1.4
9	Altice Financing SA 6.50%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	1.4
10	Cosan Luxembourg SA 7.00%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	1.3
	組入銘柄数		127銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

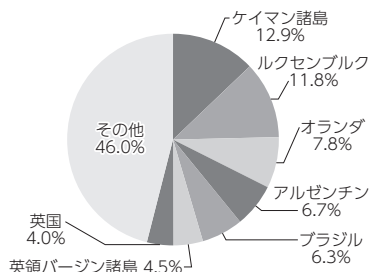
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

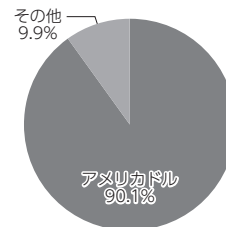
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



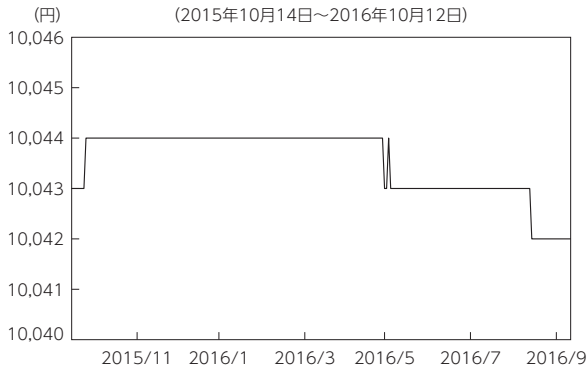
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年10月14日～2016年10月12日)



【1万円当たりの費用明細】

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,043円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。